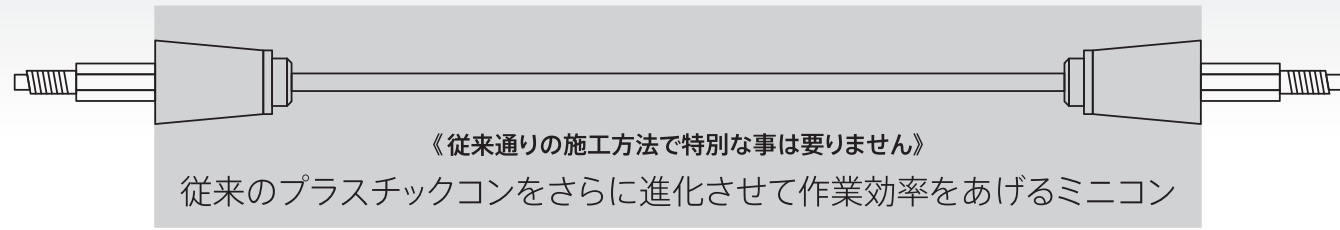


ミニコン

従来に比べコンの形状が小さいため意匠の向上性が図れます。



従来型のプラスチックコン

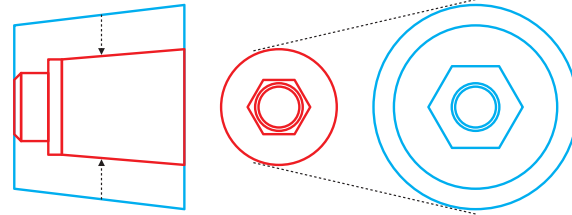


ミニコン



- ・ミニコン (小口径型コン)
φ17mm×25mm 容積3.8cm³
- ・従来型のプラスチックコン
φ30mm×25mm 容積14.4cm³

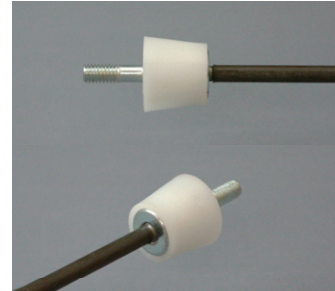
こんなに小さい!!



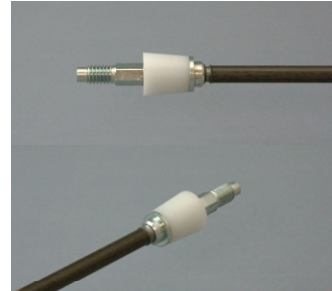
原寸大 従来型の約4割サイズ

- ・従来型と比べ表面のコンクリート開口面積が少ない。
 - ・おねじ先端が細くなっているため、ガイドを当てたまま型枠の穴に導くことができるので型枠返し作業がはやくなる。
 - ・六角部分が、型枠内に入る構造のため、コンクリートのろが入らず、はつりやのろ削りレンチなどを使用しコンを壊すこともありません。
 - ・本体のプラスチック部に空洞がないため、変形やつぶれることがありません。
- ※杉板用、本実型枠に使用できるミニコンもあります。

従来型のプラスチックコン



ミニコン



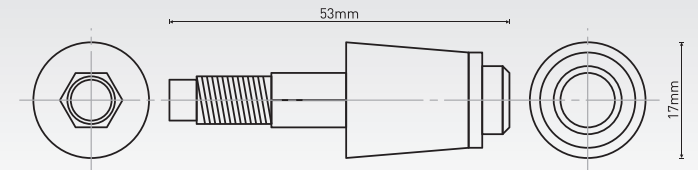
強度表 (新潟県工業技術総合研究所)

圧縮試験

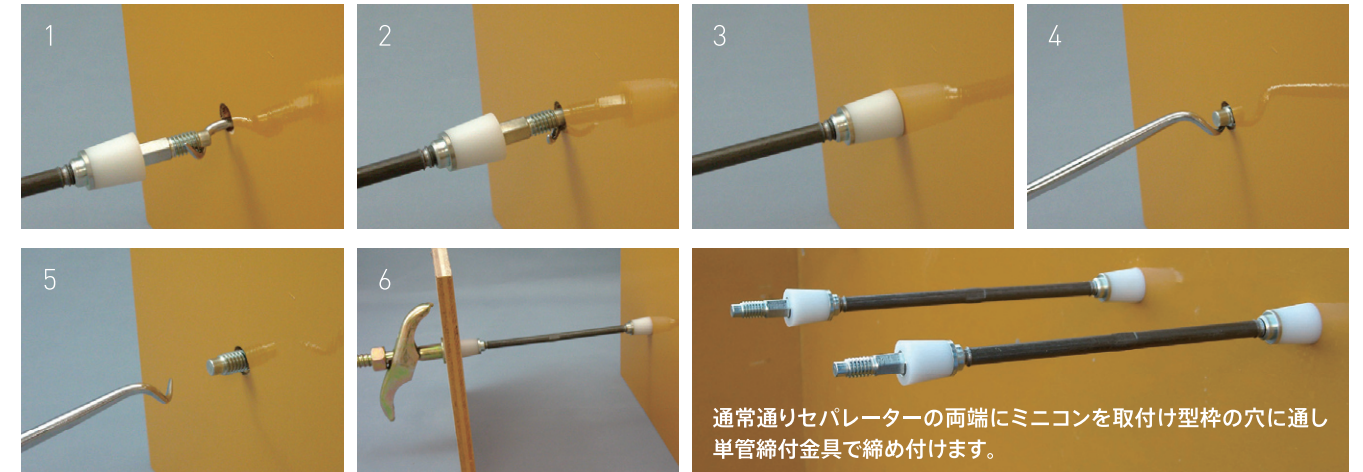
試験品	No.	最大試験力 (kN)
ベニア板穴径 (mm)		
8.0	1	4.27
10.5	1	3.69
	2	4.19
	3	3.95

引張試験

No.	最大試験力 (kN)
1	25.37
2	26.04
3	26.05



施工手順



1, 2, 3 (型枠内側からの図)

鉄筋施工後返し型枠の外側の穴よりガイドを入れミニコンの先端の細い部分にガイドをあて、型枠を返します。

※従来のプラスチックコンよりもミニコンは先端に小口径部があるためひっかけやすく作業効率がUP

4, 5 (型枠外側からの図)

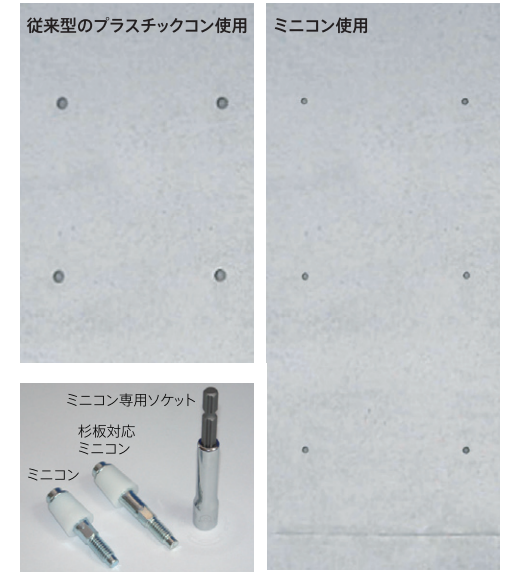
ミニコンの頭をセバ穴より引出します。枠板へしっかり密着させ引き寄せます。ミニコンは無垢の為ノロが入ることはありません。

6

単管締付金具をしっかり固定します。

※使用方法は従来のプラスチックコンと変わりません。ミニコンは型枠解体時ののり取り作業もなくオリジナルボルト形状(注1)の為取り外しが容易になります。取り外し時に本体の変形やつぶれがないため作業が容易であります。本体を、傷つけることが少ないので従来より使用回数が多くなります。

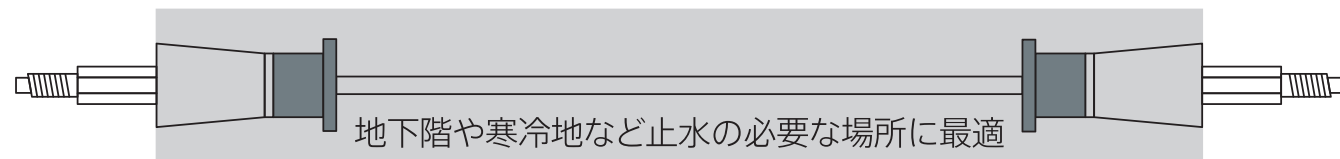
(注1)オリジナルボルト形状、ねじ部の奥で六角部があります。8mmの深型コンパクトソケット使用可能(メーカーによっては使用不可の場合があるのでミニコン専用ソケットをご使用ください。)ミニコン専用ソケット、内山産業で販売。※コンクリートが硬くなりすぎますと、本体が取り外しにくくなる場合があります。



施工事例



止水板



当社ミニコン止水板を装着し、セパレーターにねじこみコンクリート打設後ミニコンを外し止水板がコンクリート内に残りセパレーターねじ部の止水リングにより止水の向上性が図れる。

